

SAKURA



だより

令和3年度のスタートに当たって

三原 和弘

4月1日付で、佐野貴仁前校長の後任として、さいたま桜高等学園の校長に着任しました三原和弘と申します。実は、このさいたま桜高等学園には、開校した平成19年度と翌20年度に勤務しておりました。そして12年を経て、校長として再びこの学校に戻ってくることができたことをうれしく思っております。当時はまだ植樹されたばかりの桜が植わっていたことを思い出します。そして着任した日には、桜もピンクの花を咲かせていました。そして今日は、木によってそれぞれ違いはありますが、花から新緑の葉に変わっています。この葉は桜が大きくなるために、そしてまたきれいな花を咲かせるために必要な新しい息吹です。新しいスタートの季節と重なります。桜が新葉を芽吹いたように、今日から新たな気持ちで学びを重ねることで、また1年後にきれいな花を咲かすことができるのです。校長として、さいたま桜の生徒の皆さんが新たな成長に向かって進めるように、そして、それぞれの花を咲かすことができるように教職員一同が力を合わせて、全力でよりよい学校にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は始業式です。2年生79名、3年生78名のみなさん進級おめでとう。そして、明日は入学式です。1年生80名の皆さん入学おめでとう。237名の皆さんが、ここさいたま桜高等学園で一人一人の夢の実現に向けて「さ・く・らの精神」である、【さ】爽やかな前進、【く】繰り返しによる自信、【ら】らしくする姿勢を体現して、お互いに切磋琢磨し、尊重し、力を合わせて学び、この学校に通えてよかったと思えるようにしていきましょう。